

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス ぱれっと			
○保護者評価実施期間	R7年 3月 1日		～ R7年 3月31日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	R7年 3月 1日		～ R7年 3月31日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 4月 4日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域との関り	地域のお祭りに参加したり、活動行事に商店街の方々に一緒に参加して貰ったりして、子供たちの成長を見て頂くと共に、挨拶など自ら行える様になってきている。	商店街の中に事業所がある意義を十分に発揮し、様々な活動を通じて地域の方との交流を深めていきたい。
2	活動内容の充実	普段経験できない事や、合同行事の際に年上の児童が頑張っている姿を見て、子どもたちが目標と出来るように繋げている。	出来る事頑張れることを増やし、達成感による自己肯定感の向上を図れるようより一層充実させたい。
3	居場所作り	安心して過ごせる環境を常に整え、利用したいと思える空間作りを心掛けている。	より一層安心して過ごしてもらえるような環境作り。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の場	親子レクリエーションは実施しているが、それ以外に交流できる活動が少ない。	活動だけでなく懇親会等、保護者間での情報共有が出来る場を増やしていきたい。
2	保護者支援	困り事などの支援は行えているが、もっと安心できるための支援等が出来るのではないかな。	様々な事を活用し、保護者の方々が安心して子育てでき、通所の支援を行う事で共有して子供の成長が見守れるよう支援していきたい。
3	支援のマンネリ化	子どもの特性に応じて活動等を考え支援しているが、少し偏り気味で支援の幅が狭いように感じる。	様々なツールを活用しつつ、活動プログラムが偏らず